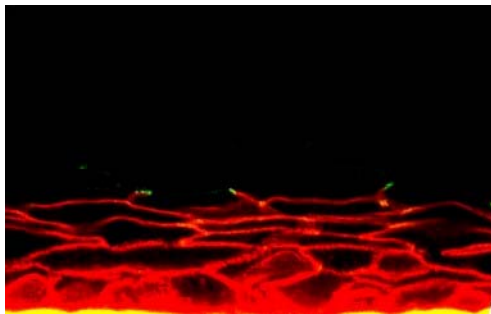


TJの新規機能を向上させる素材の有効性

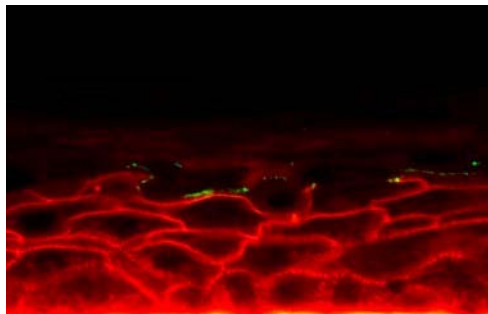


TJ阻害後、素材を添加し6時間経過

マーカーが正常にTJの位置でとどまっています

緑：TJ

赤：Caイオンをはじめとする物質の流れを示すマーカー

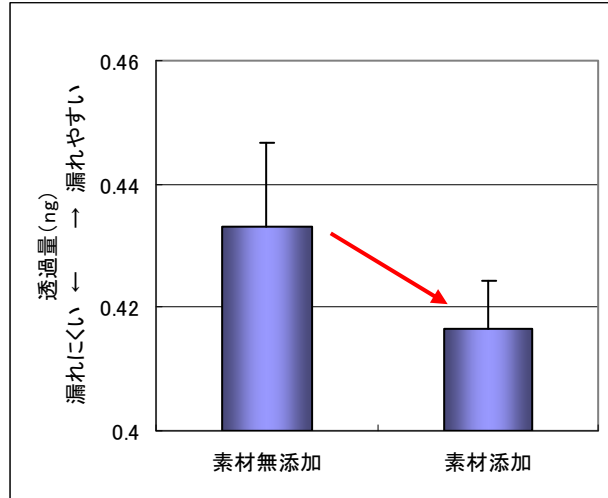


TJ阻害後、素材の添加なしで6時間経過

マーカーがTJを超えて漏れています。

(ポーラ研究所調べ)

<Caイオン透過量の変化>



T J機能を向上させる素材を添加した細胞と、添加しない細胞とでは、素材を添加したもののほうがCaイオンの透過量が少なく、漏れを抑制していることが確認できました。

ng:ナノグラム

(ポーラ研究所調べ)

また、実際のヒト皮膚におけるこれらの素材の効果を確かめるため、肌あれを起こした皮膚に塗布したところ、皮膚のバリア機能の回復が早まりました。肌あれにより機能低下したT Jに素材が働きかけて、表皮・角層形成の正常化を早め、肌あれからの回復を促したと考えられます。